

おもいやりの桜。



不法投棄地帯をきれいにし、そこに植えた桜で毎年花見をする。一過性で終わらず、次につながる原動力は「思いやる」ところ。



ここに一枚の資料がある。

「小田原市曾比地内酒匂川右岸の堤内地の（曾比85番地、有限会社伊藤製作所東側）青少年のサイクリングコース下辺一帯が家電製品、タイヤ、自転車など廃棄物の不法投棄場所となり、永い間放置されてきた。この解決のため、曾比地区住民は所管する県松田土木事務所と協議を行う。恒久的に不法投棄を無くすためには、周辺一帯を桜の植樹を行い、景観地域として整備と美化を計画的に管理・運営することと合意した。」

これが「曾比・桜愛好会設立の経緯」である。

春先3月半ば。準備の段階からお話をお聞きしたので開場1時間前の11時頃についたのだが、会場に着くとすでに受付のテントと紅白の幕が張られている。その奥には、まだ若くて背が低く華奢な印象なもの、満開に咲いたおかげ桜が一列に並んでいる。土手の傾斜にはオーディオにつながれた拡声器のお化けのような



来場者にいろいろ配給されていく。我々もポップコーンとおにぎりをゲット。

曾比・桜愛好会
花見の宴の風景

